

令和 4年度  
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書  
(冬期調査)



<雪の中のカワウ>

日本野鳥の会岡山県支部

令和 5年 2月

# 岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査報告

## 1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

## 2. 調査の内容

県内の冬期カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

## 3. 調査の方法

### (1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬期）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月中旬から1月上旬の間に行った。

### (2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

### (3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「令和4年度岡山県内における冬期カワウねぐら利用状況調査報告書資料編」に示す。

## 4. 調査結果

本年度県内で冬期に生息するカワウの羽数は、6,310羽であった。

その内、吉井川水系で991羽、旭川水系で2,135羽、高梁川水系で1,652羽、そして海上部諸島と海岸域での湖沼で1,532羽の生息分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、47か所行い、その中で利用していた箇所は、30か所であった。利用されていない箇所は、そのほとんどが繁殖期のコロニーとして利用していた場所であった。また、新たにねぐらとして確認された場所（復活）が2所見つけた。さらに、カワウ駆除としてねぐらに防除テープを張っていたねぐらが6か所あった。

表一 令和 4年度 冬期ねぐらにおけるカワウ生息数調査

No.	河川名	ねぐら場所	調査日	本年個体数	備考	昨年個体数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	12月16日	422	営巣個体多数	340
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	12月18日	417		173
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	12月18日	58		97
1-4	金剛川	和気町藤野	12月20日	0		15
1-5	吉井川	和気町佐伯苦木	12月20日	0		0
1-6	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月20日	0		0
1-7	"	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	12月20日	71		79
1-8	"	津山市瓜生原 押淵上バス停対岸	12月13日	0	忌避テープ設置	0
1-9	"	津山市日上	12月13日	0	忌避テープ設置	0
1-10	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月12日	0	忌避テープ設置	0
1-11	"	鏡野町 奥津湖 苦田大橋下流	12月12日	8		0
1-12	広戸川	津山市日本原 広谷新池	12月16日	0		0
1-13	琵琶首川	奈義町御所野 神五郎池	12月16日	0		8
1-14	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	12月18日	1	忌避テープ設置	0
1-15	肘川	勝央町福吉 切池	12月19日	6	忌避テープ設置	0
1-16	滝川	勝央町勝間田 荒神谷池	12月19日	8	忌避テープ設置	4
		吉井川 水系 小計		991		716
2-1	百間川	岡山市中区沖元 百間川中洲	12月18日	594		209
2-2	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月26日	1334		2377
2-3	"	岡山市北区御津野々口	12月29日	0		0
2-4	"	岡山市北区御津矢原	12月29日	33		26
2-5	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月27日	40		5
2-6	"	岡山市北区建部町鶴田 浮桙上	12月24日	51	新規確認	—
2-7	"	美咲町栃原 旭川ダム湖 浮桙上	12月24日	0		0
2-8	"	真庭市落合町法界寺	12月10日	0	竹林伐採 消滅	0
2-9	"	真庭市豊栄 社口ダム	12月14日	0		—
2-10	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 砂川	12月11日	16		1
2-11	二井用水	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	12月20日	67		20
		旭川 水系 小計		2135		2638
3-1	汐入川	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月12日	737		486
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸 八幡山裾	12月11日	167		215
3-3	高梁川	倉敷市真備町川辺	12月21日	196	新規ねぐら	—
3-4	"	総社市福谷	12月16日	138		101
3-5	"	高梁市玉川町玉	12月12日	94		23
3-6	成羽川	高梁市備中町布賀黒鳥(黒鳥ダム下流)	12月19日	82		42
3-7	成羽川	高梁市備中町平川二又瀬	12月22日	0		93
3-8	成羽川	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月26日	0		0
3-9	領家川	高梁市川上町領家 領家橋	12月19日	0		—
3-10	西川	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月18日	82		5
3-11	小田川	井原市木之子町 小田川	12月25日	0		0
3-12	星田川	井原市美星町星田 星田池	12月22日	5		19
3-13	稲木川	井原市木之子町 蛭田池	12月24日	151		197
		高梁川 水系 小計		1652		1181
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	12月22日	193		805
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	12月15日	348		263
4-3	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	12月24日	524		478
4-4	児島湾	岡山市東区豊田 鳩島	12月20日	116		0
4-5	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月25日	319		286
4-6	玉島港	倉敷市玉島柏島 玉島港 丸山	12月12日	0		204
4-7	深山公園	玉野市田井 深山公園 中池	12月23日	32		60
		海岸域および河川以外の場所 小計		1532		2096
		調査か所47か所中30か所のねぐらでのカワウ生息数 総計		6310		6631

各河川水系における出現割合を図-1に示す

図-1 令和4年度 各河川水系における出現割合図

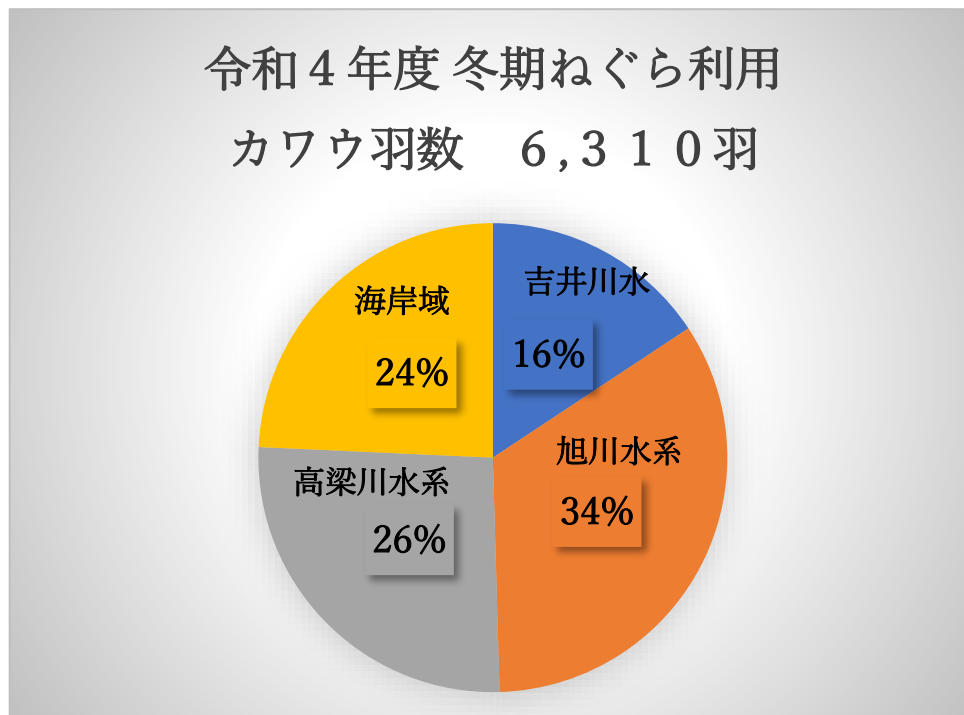
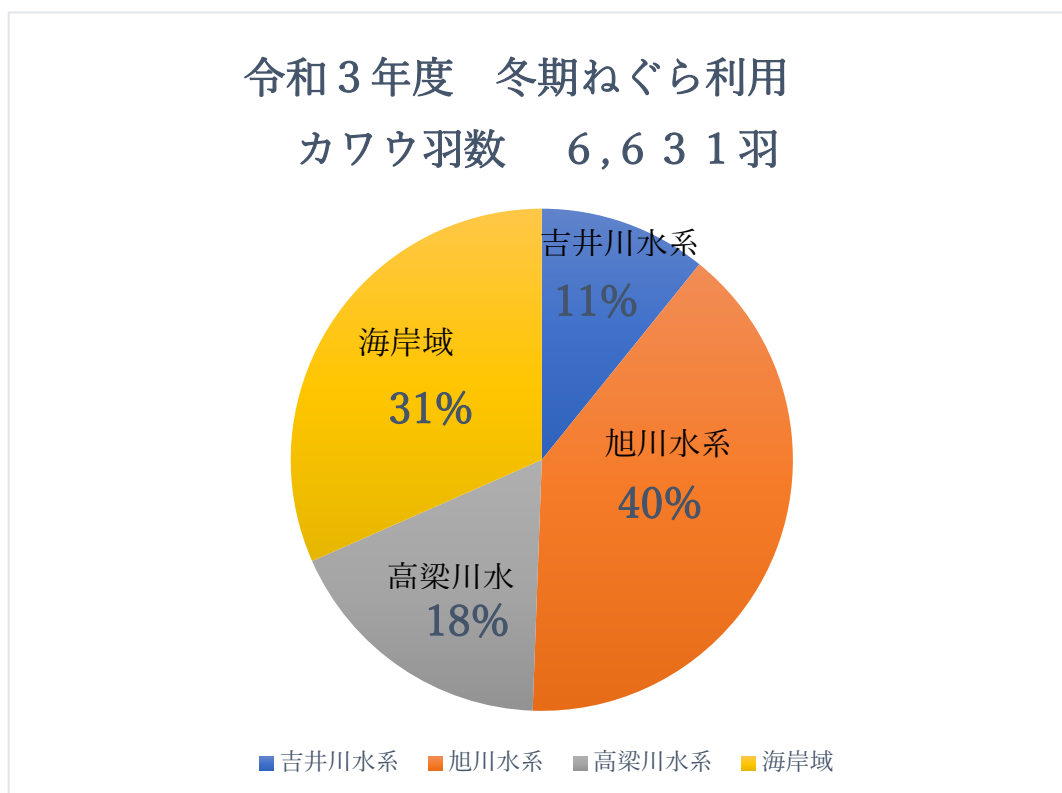


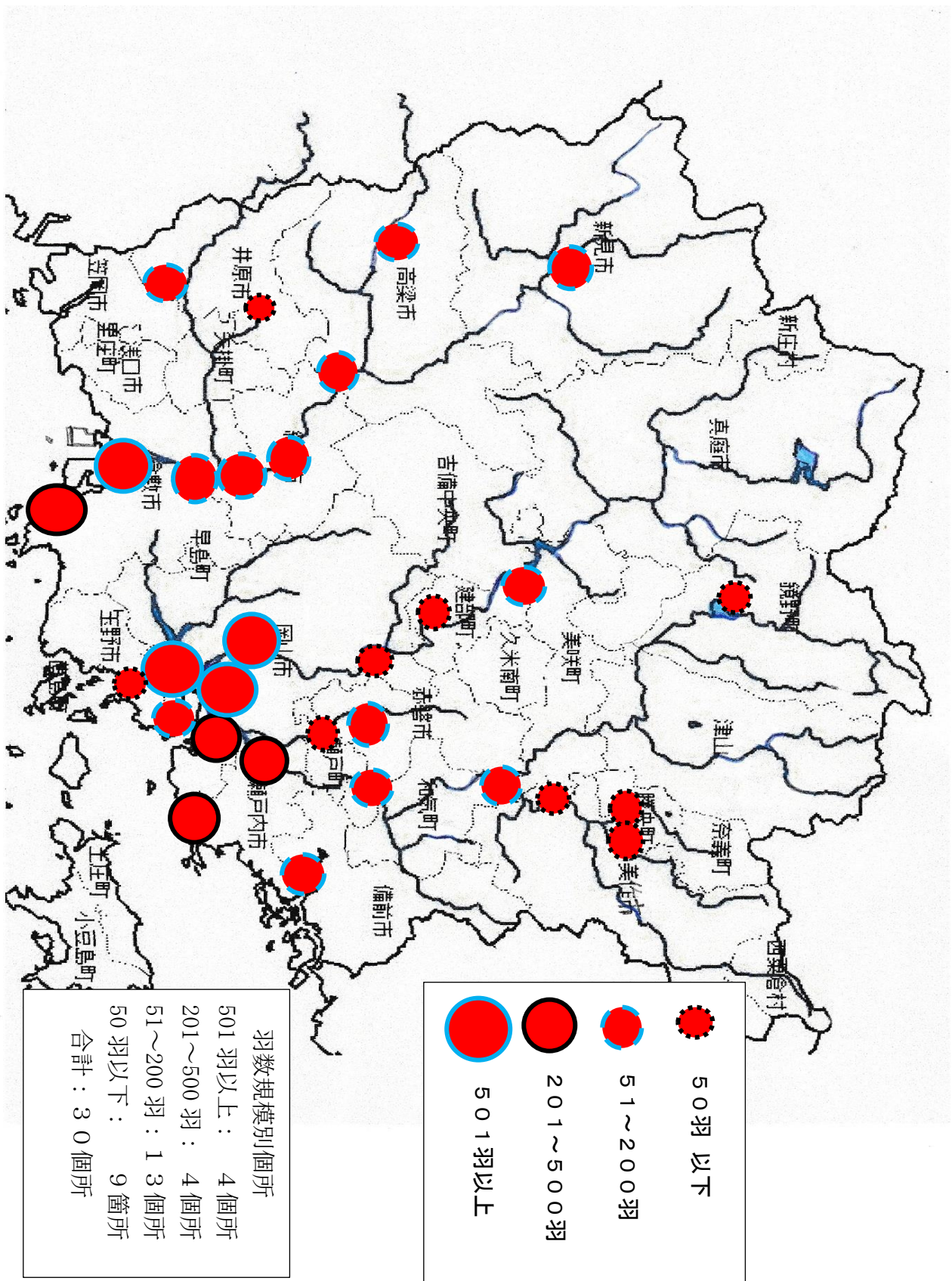
図-2 令和3年度 各河川水系における出現割合図



昨年度と比較して321羽の減少であった。高梁川水系の割合がやや増加  
吉井川水系が微増で旭川水系と海岸域で減少しているが、概ね安定している。

ねぐらが確認された場所を図 - 3 に示す。

図 - 3 カワウの冬期ねぐらが確認された場所図



## 5. まとめ

令和4年度、冬期における岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら入り」する羽数をカウントした調査結果は、総数6,310羽であった。

今年度、春の繁殖期にコロニー等でカウントした羽数は、2,661羽であったから、この繁殖期の羽数と比較すると冬期には、3,649羽増加している。

また、昨年の冬期羽数は、6,631羽であったから今期は321羽少なかった。

比較して大きな増減は無く、高止まりの羽数で安定しているようである。

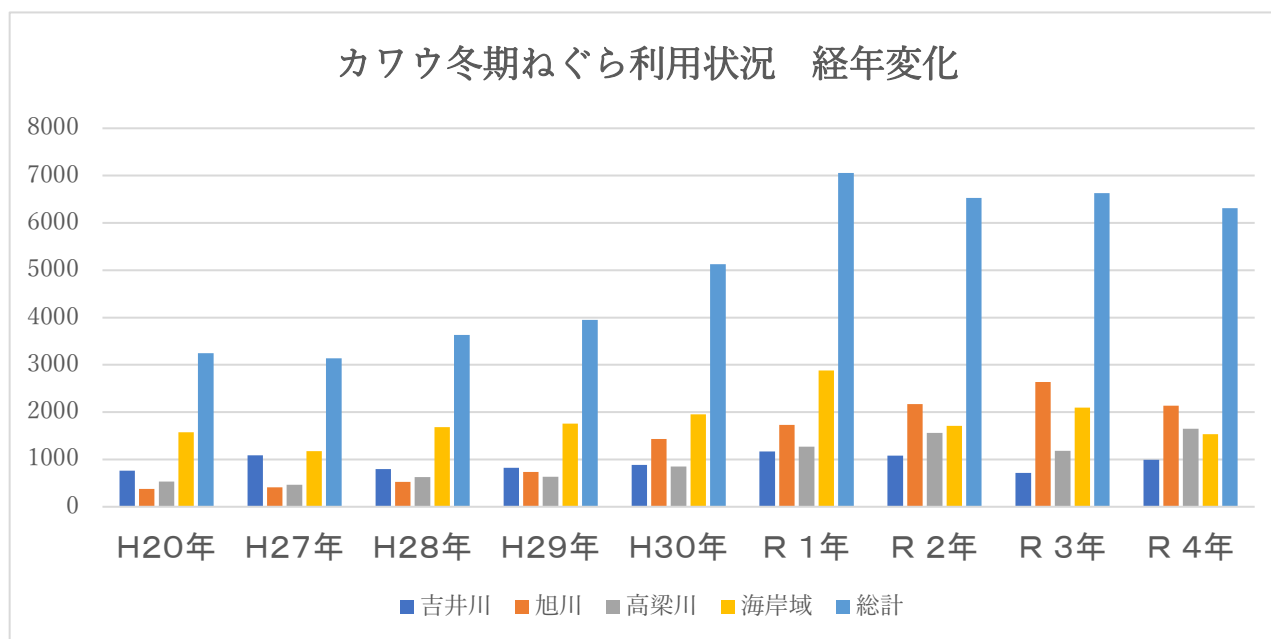
ただ、吉井川上流部においては忌避テープが設置されていて羽数が減少していることが伺える。その分、県南部に集まってきているように見うけられる。

今年度確認された冬期羽数を以前の調査結果との比較を 表-2 に示す。

表-2

年度	H20年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
羽数	3,245	3,140	3,629	3,949	5,125	7,053	6,525	6,631	6,310

図-3 経年変化図



各水系においては、旭川と海岸域で若干の減少が見られ、吉井川と高梁川で若干増加している。これは個々のねぐらでの変動に大きく左右されている。

旭川では三野公園前、海岸域では片上湾での減少が大きい、ここは共にねぐらの樹木減少または変化によっている。逆に吉井川では百枝月、高梁川では汐入川遊水池と川辺で、ねぐら利用数が増加している。共に県南部の海域に近いねぐらである。

(完)